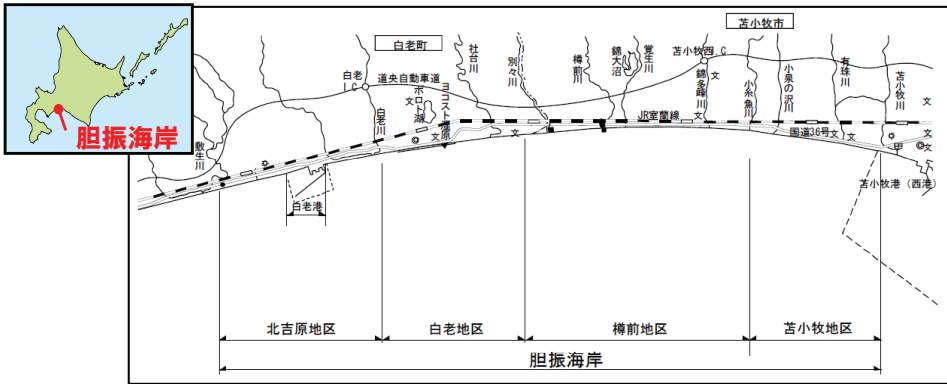


室蘭開発建設部の低気圧による海岸の水防対応 (平成24年12月3日～4日暴風波浪)

12月4日19時時点

① 海岸 (胆振海岸) の波浪状況

- 12月3日から4日にかけて、日本海中部と四国付近にある低気圧が発達しながら沿海州と三陸沖を北東進したため、北海道付近において気圧の傾きが急になり、北海道胆振・日高地方においては暴風と高波に対する警戒が必要となった。
- 暴風により、虎杖浜観測所 (風向・風速) で最大瞬間風速21.5m/s (8時29分) 平均風速16.4m/s (8時36分) を記録した。
- 暴風による波浪が発達し、苫小牧港波浪観測所では、有義波高5.27m、周期9.3秒 (12時40分) を記録した。
- 室蘭地方気象台では、胆振中部地方に波浪注意報 (3日15時47分)、暴風警報 (4日5時43分) を発表している。 ※速報値のため、数値等は変わる可能性があります。



CCTVによる監視により、護岸天端高5.4mに対して約4.5m (護岸マーキング『4』) の高さまで波が打ち上がっている状況を確認している。
※護岸へのマーキングが示す高さ
『5』: 5.0m、『4』: 4.5m、『3』: 4.0m、
『2』: 3.5m、『1』: 3.0m

② 室蘭開発建設部の対応状況

- 北吉原地区 (白老町)、苫小牧地区 (苫小牧市) に対し水防警報を発表し、水防活動を支援。
- 8時15分 北吉原地区 水防警報 (待機・準備)
- 13時15分 苫小牧地区 水防警報 (待機・準備)
- 北吉原地区 水防警報 (出動)
- 17時30分 苫小牧地区 水防警報 (解除)
- 18時05分 北吉原地区 水防警報 (解除)
- CCTVによる監視、職員による施設点検を実施し、越波や施設被害がないことを確認。

③ 自治体の対応状況

- 水防警報 (出動) の発表を受け、白老町においては白老町消防署が現地 (北吉原地区) を巡視。
- 越波や施設被害、住民避難が必要な状況がないことを確認。

○水防警報とは
洪水又は高潮によって災害が発生する恐れがあるとき、水防管理者に対して水防を行う必要がある旨を警告して行う発表です。
・待機・準備・・・波浪の発達により越波が懸念される場合に、状況に応じてただちに水防機関が出動できるように待機及び出動の準備を警告するもの。
・出動・・・水防機関が出動する必要がある旨を警告するもの。